



論点整理

第七章 その他諮問で提起された事項の在り方 ⑨

子供のより主体的な社会参画に関わる教育の改善 ②

取組を促進する方策の充実

<教師の負担への配慮等>

- ① 児童・生徒の意見を活かした学校運営やルール形成等の取組を円滑かつ豊かなものにできるよう、クラウドツールの活用方法を含め、意見表明を過度な負担なく学校の様々な活動や運営につなげる好事例等について、整理・提供すべき
- ② 児童・生徒の参画や意見を活かした学校運営、授業づくりに関する指導上の工夫等について、学校管理職や教師等に対する研修を充実させていくべき



<子供の意見を反映させる受け皿の整備>

- ① 子供が学校生活での気付きや悩みをクラウドで寄せることができる仕組みなど、学校運営の包摂性を高める取組の一環として、教師の過度な負担なく児童生徒の声を聞く取組を促すことを検討すべき
- ② 学校運営協議会制度（コミュニティスクール）において、子供の社会参画を促す方策を検討すべき
 - 子供の社会参画や意見表明の推進を議題とする。
 - 子供自身が学校運営協議会に参画する。
- ③ 学校評価において、学校運営の評価・改善プロセスに子供が関わることについて、子供の社会参画に関わる教育内容と関連付けることを促すことを検討すべき
- ④ 教育振興基本計画や教育大綱の策定をはじめとする地方公共団体での議論において、子供の意見表明の機会を設ける等、学校を超えて子供の社会参画を促すことを検討すべき

よい習慣は、身に付けば一生もの

せい あいちか なら あいと
性、相近し。習い、相遠し。

（訳）人は生まれたときには大きな差はない。

その後の習慣や学習の違いによって、差が大きくなっていくのだ。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）